

第2回西部まちぐらし創造会議 グループワークまとめ

■グループワークの流れ

1) 『西部まちぐらしプロジェクトを考えよう』

①第1回西部まちぐらし創造会議や検討会議でこれまでに出品されたプロジェクトのアイデアの中から大事だと思うアイデアと新しいアイデアを出し、そのアイデアに期待される効果を考えた。

②具体的に進めるプロジェクトを考え、実現のためには『誰が』『どこで』『何を』することが必要か、『課題・解決策』はどのようなことが考えられるか、取り組みの手法を提案した。

2) エリア名称のアイデア・キーワード

このエリアの名称について、アイデアやキーワードを出し合った。

■グループワークのまとめ

1) 『西部まちぐらしプロジェクトを考えよう』

①必要だと思うアイデアと期待される効果

・『暮らし』に関するもの

	これまでに出品されたもの	新たに出品されたもの	期待したい効果
『西部まちぐらしを支える住み替え基盤の創出』	<ul style="list-style-type: none"> ・住みたいと思える素敵な住宅をつくる ・多様な住民を受け入れる ・函館スタイルの住宅モデル 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニマムに暮らす面白さ(を伝える) ・坂にフィットした住宅をつくる ・イカの販売などの特徴をあえて演出 ・公営住宅の充実 ・外国人居住区、インターナショナル幼稚園をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ●西部地区の特質を活かした新しい居住環境が生まれる
『新たな居住層を呼び込む居住機能の整備・誘導』	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや孫も住み続けられるまち ・Uターン居住者への助成 ・学生寮・下宿 ・学生の家賃・授業料補助 ・生活特区 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者を呼び込む(支援金拠出など) ・Uターン居住者への協力・情報提供 ・お試し暮らしをしやすいにする ・子育て世代を呼び、子ども手当を支給 ・新婚夫婦に助成、1年間フリーレント ・DIY賃貸 ・町並みの雰囲気を出す住宅への補助 ・助成(額)のアップ ・(複数の学校で)合同寮 	<ul style="list-style-type: none"> ●人口増加、若者・学生が集い活力あるまちになる、活気がうまれる ●コミュニティがつけられる、仲間ができる ●西部地区の生活イメージがわく、西部で暮らすことの素晴らしさを体感できる ●少子化改善
『住環境の質を高め、住民の居場所となる公共空間の創出』	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊び場 ・安全・安心な歩行環境 ・地形を活かした休める場づくり ・空地为公園に 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者(子育て世帯)が集まる場をつくる ・公園の管理プラスα(イベント活用) ・函館公園の拡大・改革・活用(散歩道、図書館、博物館、冬季の雪遊びへ開放、遊具など) 	<ul style="list-style-type: none"> ●住環境の向上
『暮らしの利便性を支える生活関連サービスの誘導・強化』	<ul style="list-style-type: none"> ・生活関連サービス ・移動販売の充実 ・子ども食堂 ・医療費補助・医療の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・銭湯を残す ・買い物ができる場所を増やす ・バス停マルシェ、異国感のあるマルシェの定期開催、坂道マルシェ 	<ul style="list-style-type: none"> ●観光客も楽しく地元住民も暮らしやすい場所で居住者が増える
	<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルマイクロバス・循環バス等の運行 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段の充実(病院乗合タクシー、カーシェアリング、オンデマンド交通(SAVシステム)、安価な大学バス) ・市電の利便性向上(営業時間延長、一律100円などの定額化) ・路面電車延伸(空港線、東雲線、坂道上下り) 	<ul style="list-style-type: none"> ●人が集まる、人の流れの活性化 ●外出機会が増える ●住みやすい印象になる ●病院の混雑解消(分散運行) ●バス路線の補完
(安全・安心)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の拠点施設 ・(津波に対し)坂を登れば安全な場所であることをPR 	<ul style="list-style-type: none"> ●暮らしの基本である安全・安心をつくる・発信する

・『活力』に関するもの

	これまでに出了されたもの	新たに出されたもの	期待したい効果
『既存ストックの有効活用を通じた新たな魅力を生む人材・活動の誘導』	・企業誘致等で仕事、働く場をつくる	・中央に対し、函館でしかできない創造性のある新しい働き方を提案 ・学生の卒業後の就職先をつくる ・技術系の企業誘致	●新しいワークスタイルができる ●人口が増える
	【空家の再生・活用】 ・ビジネス集積 ・料理教室 ・カフェ ・コワーキングオフィス ・チャレンジショップ ・民泊	・地域の食堂 ・人の集まる場 ・空家の活用アイデアを募集 ・空き学校の活用 ・三ツ星レストラン誘致 ・生活関連の小規模店舗を多くつくる	●空家対策 ●くつろげる場所があれば来客が増える ●まちの人が住みよい環境にするよう活用
	【芸術×まちづくり】 ・芸術家の活動の場・住まい提供 ・アート関係複合施設 ・芸術系若者とコラボ	(アート：書道、音楽、工芸、演劇等) ・十字街付近をアートのまちに ・芸術家めぐり、観光客も参加できるアートイベント ・手軽に使える展示スペース、空家や宗教施設等を活用した芸術活動・創造活動・アート拠点 ・西部地区の魅力をアートにしてみよう、まちをキャンパスに(一定期間居住+創作)、劇団の合宿所	●独自の文化を育て未来につなげる ●訪れたいくなるきっかけづくり ●アート・芸術によるイメージ向上 ●宗教施設の保全と歴史・文化の継承 ●市民がアートにふれることで活力・発想力がうまれる
	【埋もれている価値・魅力の発掘】 ・海洋資源の活用 ・来街者目線の評価把握	・函館遺産 ・限界感、食に限らない横丁 ・修学旅行誘致、外国人観光客増やす ・スポーツ施設を増やす ・商業施設誘致、中華街 ・高度医療特区	●商売 up ●交流人口の増加、にぎわいを取り戻す ●地域資源の認識→住み続けることにつながる ●高度医療を求める人を呼び込む
『既存ストックの有効活用を通じた新たな魅力を生む人材・活動の誘導』	【価値・魅力の発信】 ・SNS での発信 ・有名人の協力で PR ・小説等の舞台 ・ゆるキャラ	・インスタ映えを狙う(店舗に花を飾るなど) ・函館お勧め記事のプッシュ広告 ・小説募集、函館を舞台にした作品の映画化 ・史実を住民、観光客に PR	●お金を使わずに工夫とセンスで人を呼び込める
	【まちの魅力を知る・体験する新たな企画の立案】 ・坂道の活用 ・まち歩きを企画 ・雪の活用を企画	・海をあそぶ(親水空間、ヨットクルーズ、水産センター、水族館、3港の活用) ・山をあそぶ(山頂に滞在できる環境、函館山や競輪場を活かした自転車レース) ・観光客を歩かせる、フットパス(五感で良さを感じる) ・思い出タイムカプセル ・技術系の学びの場(造船技術など) ・外国人観光客・留学生が地域を学ぶ ・参加者同士の SNS 交流型ツアー ・西部でしか買えないものを提供するマルシェ ・婚活イベント、子どもや年寄りも参加できるイベント	●交流人口・リピーターの増加 ●お金では買えないまちの魅力発信 ●坂の魅力に気付く ●健康生活につながる ●外からの目線を活用して自己満足・自己中心から脱却する ●少子高齢化改善
『函館の若者・学生が集い、まちに関わる・賑わいを生む環境の創出』	・若者が集まる場をまちなかにつくる ・学生が町会をサポートする ・空家をサテライト教室・創造活動の場に	・若者向けの施設・商業施設 ・行くだけで楽しい場所 ・夜に遊べる場所 ・建築系学生の研修・実践の場として空家活用 ・建築学部の誘致	●若者の居場所づくり ●自分のまちを知る、自慢できる ●観光客もお金を使う ●若者を呼び込む ●若い発想でまちづくり推進、地域活動アップ

・『資産』に関するもの

	これまでに出了されたもの	新たに出されたもの	期待したい効果
『地区の歴史・文化を次代に継承する、資源の活用・再生の推進』	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物等の維持保全 ・植樹・植栽で町並みをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・擬洋風建築の街並み保全 ・危険な空家の修繕 ・歴史的建造物の移転集約 	<ul style="list-style-type: none"> ●暮らしが充実する ●町並みが整い魅力が高まる
	【土地情報・地権者意向の集積】 <ul style="list-style-type: none"> ・土地需要者とのマッチング ・土地のデータを整理する ・土地の売り手の意向把握 ・空家活用に関する塾を開く 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント・不動産・建築等の企画・運営を行う会社の設立 ・コーディネートや管理をする会社 ・土地・建物の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ●全国から住みたい人が集まりやすくなる、人口が増加する ●知りたい人に情報が届く ●ビジネスと住まいの問題解決につながる ●事例を学んで実践に結びつける
『地区の個性を發揮する「坂道」における景観の強化』	<ul style="list-style-type: none"> ・冬でも安心して歩けるまちに整備 ・町並みの維持・管理・再編 	<ul style="list-style-type: none"> ・除雪範囲を広げる ・歩道のロードヒーティング、舗装 ・バス停にもベンチ設置 ・広場をつくる ・国・市の土地活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●若者も高齢者も増える ●まちに出る人が増えて交流が進む ●人が集まる ●まち全体に人が広がる
	【坂道の活用】 <ul style="list-style-type: none"> ・坂道ベンチ、お休み処 ・坂をマイナスにとらえない ・あそび空間、健康づくりの場 	<ul style="list-style-type: none"> ・坂道にリフト設置、路面電車 ・坂道をイベント利用 ・坂道に階段をつくる ・滑り止めの砂置き場を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ●暮らしやすさの目安を住民目線で作くり発信 ●坂道のデメリットをイベントによりメリットに変える ●健康づくりが進む
『地区観光・回遊の魅力・利便性を高める動線の強化』	<ul style="list-style-type: none"> ・横道を魅力的に ・駐車場の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧函館病院跡地活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●車で来る人・観光客が増える

・『人』に関するもの

	これまでに出了されたもの	新たに出されたもの	期待したい効果
『他主体連携による共創のまちづくりの場の組成』	<ul style="list-style-type: none"> ・大学・高齢者との連携 ・まちづくりを考える機会や場を増やす ・新しいプレイヤーとまちを考える場をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・年配者（知恵・歴史の管理人）の有効活用 ・高校生も含めてまちづくりを考える ・アントレプレナーシップを持った人材育成 ・プレイヤーの交流の場づくり ・歴史教育を小中学校に導入 	<ul style="list-style-type: none"> ●愛着を持つきっかけ ●市民の多くの意見が集まり活力や行動力となる ●子供から函館の歴史に親しむ
『共創の場を中心とした西部エリアマネジメントの展開』	<ul style="list-style-type: none"> ・空家活用に関する情報の一元化 ・空家の改修・運営・販売をする会社 ・アイデアコンペ 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊・飲食・工芸をひとまとめに ・アイデアコンペ＝文化と知恵の集積 ・実験的な取組みの実践 ・空家活用を制度化する 	—
『地区コミュニティのつながりの強化』	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域の共同活動 ・コミュニティ・活気を生み出す場づくり ・町会館の活用（ミニ図書館、自習室） ・参加したくなる仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロシア極東国立総合大学との連携 ・学校と生活、学生と町会のコラボ ・楽しい町会 ・町会費無料化 ・町会館を使う敷居を下げる ・町会活動強化、運営指導、周知 ・まちセン×古民家 ・コミュニティスポットを全域に配置 ・コミュニティスクール ・町会活動の発信・共有ツールを学生がサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ●町会活性化 ●市民の意識向上 ●コミュニティの強化 ●西部地区を有名にする ●学生の頃から愛着をもてる ●くらし・まちの課題が若者の「勉強」の材料となる ●地区が好きになる

②取り組みの手法

区分	プロジェクト名	誰が	どこで・何を	課題・解決策
若者	『若者が集まる場所を まちなかにつくる』	・学校 ・市	・若者のニーズを訊くアンケート 調査 ・函館の歴史を学ぶ ・若い人たちに函館検定を受けて もらう（興味を持ってもらう） ・若者向けのフリーペーパーを配 布する ・大型施設	・チャレンジできる機会を与え る ・何かしてくれる大人がいる ・子どもころから喜びを体験 できる仕組み ・人が集まる場所と仕組み
若者	『西部のヒーローにな ろうプロジェクト』	・自分のできることは自分でやる ・学生、看護師、新人職員	・住民と学生の交流の場をつくる ・ボランティア何が出来る？何し てほしい？マッチングさせる ・除雪 ・郊外学習	(課題) ・持続可能性（インセンティブ） (解決策) ・楽しみ（例 金、出逢い（恋愛））
若者	『西部地区とボくらブ プロジェクト』	・学生、20歳代、30歳代	・空家を利用 ・本・温泉・カラオケ・宿泊、あ そびが全部あるような場所づく り	・若者のニーズ調査
若者	(学生寮づくり)	・クラウドファンディング ・市の補助（学生寮建設） ・市と大学の協働	・空家を安く貸す ・市と大学が協働で授業を考える ・学生寮の次は周辺店舗（若者を ターゲット） ・交通の便を良くする	・歴史的建物を活用する ・灯りを増やす（世界三大夜景 に戻す） ・函館市が教育面で全面サポー トをする
若者	『空家で学生寮』	・まとめる団体 ・道外大学生 ・大学 ・市 ・町会 ・法人格 ・行政主体の民間団体	・4人部屋を3つなどまち全体を 寮に見立てる ・サテライトキャンパス ・町会とコラボ	・参加する人の思い ・空家をどうまとめるか ・金銭 ・学生が住みたくなる魅力
若者	『学生が集まるまち』	・市(お金がかかる事業) ・学生	・(函館大学と西部地区間) 学生限 定のICカードでバス、電車を安 くする代わりにボランティアを する ・雪かきボランティア(アルバイト) ・ロードヒーティング ・各大学のサテライトを置く(週一 で必ず訪れる)	—
資源 活用	『“海をあそぶ”プロジ ェクト』	・漁業者（イカ釣り船） ・船の所有者	・緑の島 ・金森倉庫の裏 ・昔の海水浴場 ・海のタクシー（未来大学で研究 中のオンデマンド交通の実現）	—
住まい	『住宅（補助見直し）』 『函館スタイルをつく っていく（マイナスポ イントを楽しむ!）』	・行政 (本当に困っている人に向けて)	・古い建物体験ツアー ・おためし暮らし ・町会誌などで情報発信して共有 していく ・町並みに合う新築アパートやマ ンションをつくる	・安くすれば良いわけではない ・期限を決めて取り組む ・電波が弱い建物はNG ・社宅 ・水回りなど最低限の設備が必要
交流 促進	『坂を盛り上げるプロ ジェクト』	・学生 ・地域おこし協力隊 ・坂をもっている町会と学生	・ウォータースライダー／流しそ うめん／ホコ天	・金銭面に対してクラウドファ ンディングなどが必要／前評判 ／告知／広報／警察との協議
交流 促進	(イベント)	・市民 ・役所	・西部地区の特性（海・山・坂） を活かし、季節ごとのイベント を考え具体策を考える	—

区分	プロジェクト名	誰が	どこで・何を	課題・解決策
交流 促進	『来街者の思い出蓄積プロジェクト』	・旅行者 ・ツアーとして旅行者と市が共同で考える ・函館市と企業（ケーブルテレビ）のコラボ ・観光ボランティアサークル ・地域に住む人（土産物屋のおじさん・おばさん）	・人と地域、今あるものを有効活用 ・函館山に設ける ・コースのプランニング、学習素材の活用法について情報提供	・どのように集め一元化するか ・データの扱いについて事業計画化（行政） ・もう一度函館に来る仕組み（何年後かに来る前提のツアーを組む）
空地・ 空家	（空家・空地活用）	①土地の登記を管理している人 ②地主さん・家主さん（不動産屋）	・空家・空家を再整備・活用 →①休眠資産の洗い出しと管理 →②情報提供	・古い建物の改修にはクラウドファンディング、ふるさと納税
交通	『交通網会議の開催』	・函館市議会	・定額化するメリットの理解 ・低床電車の増大 ・適切な運賃の設定	—
意識 改革	（愛着を生む）	・市民 ・学生・若者	・西部地区 ・現状を知ることから自分たちで考えることでまちへの愛着を生む	・行政の意識変化 ・市民の意識変化
その他	（まちづくりの仕組み）	・地域住民と函館市 ・歩道整備は函館市（場所を絞ってやる） ・地域限定ファンドで市民がやる ・投資家（資産家の投資を生むようなものを）	・地区の魅力を知ってもらう（生活のしやすさ、暮らしやすさ、オーシャンビュー、歴史観のある建物、風景の良さ） ・土地・建物と知名度を利用する ・運営会社が投資の受け皿となる	・ビジネス的発想が基軸となっている。効率や投資効果ではなくまちの暮らしをつくること ・誰がやるか ・お金 ・場所の維持・管理

2) エリア名称のアイデア・キーワード

区分	エリア名のアイデア・キーワード
西部	・西部地区（4件）、再興西部、きてみて西部、函館山ウエストサイド（地区）、ウェストタウン ・函館西部クリエイト会議、Cの町西部（コミュニティ、カレッジ、カルチャー、 ^(C) Sea、たの ^(C) しい、うれ ^(C) しい…）
函館山、地形	・（函館山）山麓地区（2件）、函館山ろく地区、函館山地区 ・函館山ふもと地区、函館山の近く、麓／ふもと ・地形に着目／トンボロ／陸繋島
坂	・坂たっぷり地区、坂がすきになるまち、登るを楽しむ、坂ラッシュ／魅惑の坂道／傾斜地
海・港	・函館マリーナ地区と函館望洋シータウン地区（エリアによって分ける） ・港まちエリア、港町、マリーナベイ地区、うみまちエリア、シーポート、みなと ・（「北海道の玄関口」から何か連想したい）
函館発祥の地	・旧市街（2件）、旧市街地区、旧箱館市街地 ・函館はじめての街、始まり、はこだて開港エリア、函館開港地区、古き夜明けの街、歴史の発祥
歴史・文化・ 景観	・函館西部歴史観光地区、函館西部歴史風致地区、西部歴史保存エリア、はこだて歴史的保全地区 ・異国情緒エリア、ぶらりハイカラ地区、教会の鐘鳴り響く、異国情緒あふれる、どこでも絵はがき ・祈りの聖地 函館西部（宗教を超えたつながりがある地区） ・歴史と思い出のまち、“レトロな香り”濃縮果汁100%、のれんの似合うまち（屋号も入れる）
灯り、夜景	・灯、ゲレンデ×灯、光／光のもと／夜景のおひざ元 ・かがやきの街、函館ナイトビュー ・灯（あかり、あかし）
施設・地名	・赤レンガ周辺、函館山・元町・赤レンガ倉庫地区、函館元町地区
学校、若者	・キャンパスタウン、西のヤングタウン ・若者×旧市街、北を貫き抜ける若き寒風の吹くまち ・大人、学生、子ども
集い、にぎわい	・集いのまち、集うまち、楽しめる ・住んでいる人、観光客が笑顔になるまち、 ・行きたくなるまち ・（観光に関するワード）
暮らし	・まちぐらし（西部地区のモダンなイメージにぴったり。都市性+劇場性+なつかしさがある） ・海もあって山もあって新しい暮らしのスタイルがあるまち、・素朴だけど洗練されているまち ・助け合うまち
その他	・（検索してみたくなるようなわかりにくいキーワードがよい） ・（名称は最後に決めればよい） ・散歩 ・参加、場所 ・リフレッシュ ・知ること ・なごみ ・ハイブリッドなまち ・町が開かれている ・よみがえる、再生 ・巴の先